

# ワクワク通信

お客様とイバセキを結ぶホットライン

2月号 2024 

発行元：茨石商事株式会社  
TEL: 0299-24-2680  
http://www.ibaseki.com



凍結防止帯  
2mタイプ

水道管の凍結予防に有効です！

水道管にヒーターを巻き付けて凍結を予防。サマスタートで自動でON/OFFします。

工事費込み 13,000円 / 税込  
※配管の長さに応じて金額は変わります

ガスを使った発電機・給湯器で、電気代節約！停電も安心！

イバセキでエネファーム 節約と安心を同時に！

家庭用燃料電池「エネファーム」とは

## 発電のしくみ

ガスから取り出した水素と、空気中の酸素を化学反応させることで発電します。

## 給湯のしくみ

発電時に発生する熱で約60℃のお湯をつくり、設定温度になるよう水と混ぜて出湯します。

「ガス・電気・水道」災害から3大インフラを守る！



### 弊社にお任せください

災害発生時にガスの供給が遮断された場合も、早く復旧させることができます。



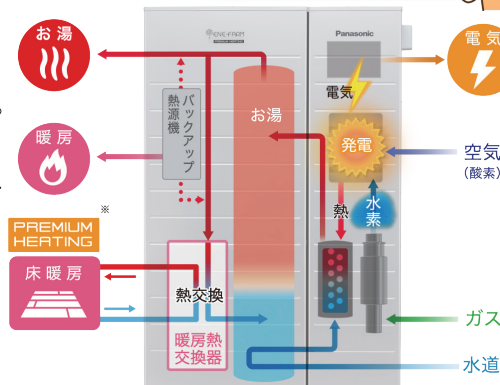
### エネファームから電気供給

停電時専用コンセントから最大500W・最長8日間の電気を使用できます。  
※停電時送電継続機能付きエネファーム



### エネファームの貯湯を利用

備蓄水最大130Lを生活用水として利用できます。



蓄電池とセットなら災害等停電時も起動し電気が使えます

多数の設置実績で安心の施工！

世界情勢の不安定化から、電気代も高騰し節電が叫ばれるこの時期。エネファームは電気代を節約できる他、蓄電機能を使えば災害の停電でも8日間賄えます。設置を考えてみようかな、と思ったら経験豊富なスタッフが多数いる当社まで ☎0120-41-2680是非お問合せください！  
ご自宅のエネルギー改革を検討しませんか？

## 導入事例のご紹介 (石岡市I様邸)

担当の石上です。

石岡市のI様邸で、補助金を活用したエネファームの導入を行いました。

そもそもエネファームを入れたきっかけは、電気代の高騰でした。

ガスから電気を作るエネファームは当然電気代の節約につながります。

その分ガスは使いますが、2人暮らしのI様邸では恩恵の方が多いためです。

また日本各地で起きている地震、台風など自然災害も、エネファーム導入を決めたきっかけの一つのこと。プロパンガスはそもそもご自宅に設置するエネルギー

です。「東日本大震災の際もプロパンガスだけは使えた」という方は多くいらっしゃいました。ガスに加えて電気と水を蓄えて置くことができるエネファームは災害

時にI様邸でも大いに活躍することでしょう。

時にI様邸でも大いに活躍することでしょう。



給湯省エネ  
2024事業

## 2024年度も補助金が出ます！

2024年度も補助額が増額の上、継続される旨、資源エネルギー庁のホームページに掲載されています。2024年度の補助額は18万円～。手続きに関しても当社スタッフは経験豊富ですので、お気軽にご相談ください！

給湯省エネ事業特設サイト



<https://kyutou-shoene2024.meti.go.jp/>

# 今を切りとる 社長エッセイ



家屋倒壊イメージ画像  
※著作権フリー画像

## 「命運」

当社でも取り急ぎ支援出来る事を考え、取引先や関係先を通じて緊急確保出来たカセットコンロとカセットボンベをお見舞いとして寄贈させて頂きました。今後も被災地から災害救援隊出勤要請が有れば社員を現地に派遣する予定です。今も辛い思いをされている被災地の皆様方にお見舞いと1日も早い復旧がなされます事を心よりお祈り申し上げます。

それと間髪を入れず起きたのが羽田での「JAL」機の炎上でした。幾つかの複合要因が重なって起きた事故とも言われておりますが、上記震災の物資輸送に向かう途中で亡くなられた海上保安庁の方々の「冥福」もお祈り致します。

それとは逆に「JAL」機の乗客367人が無事に脱出出来たことは「奇跡の18分間」と呼ばれ世界的にも話題となりました。しかも「JAL」さんは搭乗1年目の新人だったとか。突然の事態に大きなパニックも引き起こさず冷静な避難誘導が出来た事は、いかに日頃からの訓練が大事かと我々も身が引き締まる思いでした。これらの出来事に遭遇し、生死を分けた人の命運というものを、つくづく思い知らされた年始でございます。

コロナが緩和されて以降、様々な活動が活発化して来た最中、年当初から不穏な出来事が連続して起こりました。先ず元旦には能登地方を中心とした大地震、震度7はかなりの衝撃と推測されます。  
②「東日本大震災時私達が経験したのは6弱」未だに倒壊家屋内の捜索も儘ならず、寸断された道路も何時復旧の目途が立つか判らないという状況下で、救援物資も十分に行き届かず、更に悪い事に雨や雪にも見舞われている辛い状況は想像を絶するものと思われまます。亡くなられた方も数多くおられ、その中には年末年始実家に帰省して不幸にも被災された人も少なくないと思います。何と皮肉な命運を分けた出来事だったのだからと感じております。



カセットコンロ、  
ボンベを寄贈

## ※ご注意下さい。

**ご注意!** 甘い言葉でLPガスの切り替えを迫る勧誘員…

格安の料金で勧誘されてLPガス販売店を切り替えただけで、いつの間にか元の料金より高くなっていた・・・  
この様な例が報告されています。



お心当たりのある方は、  
当社、お客様相談窓口まで  
お電話ください！  
茨石商事株式会社  
☎ 0120-41-2680

## ふるさと紀行

### 石岡市『佐志能神社』



梁谷佐志能神社境内の様子

佐志能神社(さしのじんじや)は、石岡市内にある神社で、『梁谷佐志能神社』と『村上佐志能神社』の二社があり、いずれも石岡市龍神山の雨の神である『龍神』を祀っている神社である。両神社は竜神山の東面の南北に鎮座する。梁谷の社は南峰の山腹の標高約85メートルにあり、村上の社は北峰の山麓の標高約70メートルの場所に鎮座している。  
梁谷が「高おかみの神」と呼ばれる雌龍、村上が「閻(くら)おかみ」と呼ばれる雄龍が祀られている。竜神山にあって二座を祀り分けることから、今日では二社一対の神社と認識されている。  
沿革については諸説あるが、873年(承和4年)3月、仁明天皇の時代、常陸国新治郡佐志能神社が設けられ、玄孫、荒田別命の子孫である佐白公が新治国造に任ぜられたといわれる。その際、祖神を龍神山に鎮座したとされる。佐志能は佐白がなまって変化したのもいわれている。そして、竜神山に鎮座することから、江戸時代は龍神社(龍神宮)と呼ばれていた。1862年(文久2年)9月に社殿が炎上し、その後、再興しました。1952年(昭和27年)、宗教法人を設立し現在に至る。現在では「竜神さん」と呼ばれ、また、『梁谷佐志能神社』と呼ばれることとなった。  
茨城県内には石岡市柿岡と笠間にも佐志能神社がある。式内佐志能神社の論社が四社あり、いずれも佐志能神社を称している。梁谷の高龍(たかおかみ)は、毎年4月19日に里神楽の十二座神楽が奉納され、例祭日には「十二座神楽」という里神楽が奉納されている。十二座には「豆まき」や「種まき」などの舞がある。当時の主産業であった農業と密接な関わりがあることが分かる貴重な行事であるが、文献資料などが残されておらず、正確な歴史は不明である。「石岡の歴史」(昭59年刊)にて、起源については、三、四百年前からつけられているとされている。